

令和4年度 第3回 二宮町環境審議会会議録

日 時：令和4年9月30日（金） 午前9時30分～11時30分
場 所：二宮町役場3階 議会第1委員会室
出席者：室田会長/土谷委員/梁井委員/井上委員/片岡委員/渡辺委員/和田委員
事務局：宮嶋都市部長/安藤生活環境課長/山下環境政策班長/岩本主事補
委託事業者2名

1. 開会

生活環境課長：本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

定刻となりましたので、これより令和4年度第3回二宮町環境審議会を始めさせていただきます。

本日の審議会も、新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的として、リモートと対面のハイブリッド方式による開催とさせていただきますので、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

なお、本日は、委託事業者の方もオンラインでご参加しておりますので、ご了承ください。

※新しい任期の初回ということで、会長、副会長を次の通り互選で決定した。

会長：室田委員 副会長：土谷委員

2. あいさつ

会長：おはようございます。再び会長をやらせていただくこととなりました室田です。よろしくお願いいたします。

本日、役場に来る際にラジオを聞いていたのですが、今日で今年度の半年が終わることに気づき、時間が経つのは速いと実感しました。

本日の審議会は、数年後の未来に向けた議題となっておりますので、皆様、ご忌憚のないご意見をいただきますようお願いいたします。

3. 議題

(1) 次期環境基本計画及び前期実施計画の検討について

『資料1：第3次二宮町環境基本計画』

『資料2：第3次二宮町環境基本計画前期実施計画（案）』

について事務局より説明

【審議結果】

- ・資料1の50ページに記載している本日の審議会の日付が9月29日となっているため、9月30日に修正する。
- ・資料1の1ページに記載している計画策定の背景は、読みやすい文章となるよう再度検討して修正する。
- ・資料1の43～44ページに記載している計画の推進体制に、「町民や環境団体とより一層連携を深めていく」等の表現を加える。
- ・資料1に掲載しているグラフの例示が見にくいいため、サイズが大きくなるよう修正する。

- ・SDGsの詳しい説明については、用語集に記載することを検討する。
- ・SDGsのウェディングケーキモデルの記載を検討する。
- ・前期実施計画に記載する重点事業の指標は、事業を実施した効果がわかるような指標となるよう、再度検討する。

【質問・意見等】

- 委員：資料1の50ページですが、本日の審議会の日付が9月29日となっています。
- 事務局：日程を9月30日に修正させていただきます。また、裏表紙等につきましても、日付が異なる部分がありましたので、修正させていただきます。
- 委員：資料1の1ページですが、計画策定の背景は、もう少し分かりやすい文章に変更をお願いします。後ろのページには、ニーノとミーヤが登場しますが、1ページ目には挿絵等もなく、読みにくいです。
- また、「こうした」や「このことに」などが多く、何を指すのか不明な部分も多くなっています。
- 11行目に、直近のリサイクル率が県内6位とありますが、いつ時点の数値かを明確にした方が良いと思います。
- また、リサイクル率は、県内6位のみでの記載ではなく、全体の自治体数も記載した方が分かりやすいと考えます。
- 事務局：ご指摘の通り、文章を再度検討させていただきます。
- 委員：行政文書ではなく、一般の方にも読みやすくすることや、子ども向けの簡単な文を記載するなどの工夫があると良いと思います。
- 事務局：もう一度、読みやすく分かりやすい文章となるよう、表現等を検討させていただきます。
- 委員：資料1の3ページに記載しているSDGsの画像ですが、2Dではなく、「SDGsのウェディングケーキモデル」のような立体的な画像に差し替えた方が良いと思います。
- 資料1の15ページに、「ボランティア組織による山林の管理支援や管理代行がより一層期待されます」とありますが、町として今後どうボランティア組織を支えていくかなど、具体的に記載することや、資料1の44ページに記載している計画の推進体制に、町民等をどう後押ししていくかを記載していただきたいです。
- また、資料1の42ページに記載している「吾妻山をはじめとする公園等の維持管理と運営の推進」事業についてですが、吾妻山には里山としての機能もあるため、里山を保全していくという表現も入れていただきたいです。
- 気候非常事態宣言については非常に良いことだと思うので、目標に向かって是非進めていただきたいです。
- 事務局：資料1の43～44ページに計画の推進体制を記載しているので、そこに、「町民や環境団体とより一層連携を深めていく」等の表現を加えさせていただければと思います。
- また、里山の保全についてですが、資料2の8ページに、「里山の再生と育成を促進」事業を記載させていただいております。里山は民地が多く、町が直接関与できない場合も多いため、里山の保全も実施計画に位置付け実施していきますが、重

点事業の14事業からは外させていただいております。

委員：先ほどの里山についてですが、民地の部分は町民に働きかけることも必要だと思います。

事務局：来年4月に、固定資産税の通知を出す際、山林を所持している方には、「山林管理について、何かありましたらご相談下さい」等の通知を入れていくことを検討しております。

委員：ボランティア団体を支援する範囲には限りがあると思いますが、「支援する」という文言をどこかに記載していただきたいです。

また、資料1に記載しているグラフですが、例示が小さく見にくいいため、大きく記載していただきたいです。

事務局：ボランティア団体を支援する旨は、資料2の21ページに詳しく記載させていただいております。

また、グラフの例示に関しましては、見やすくなるよう修正させていただきます。

委員：役場と民間の事業者が協定を締結し、町内の小学校・中学校にウォータースタンドを設置していただきました。自分たちの未来は自分達が守っていくという意味でも、大変ありがたい取組だと思いますので、計画にウォータースタンドの写真を入れていただきたいと思います。

事務局：ウォータースタンドの設置は、民間の事業者の方とのパートナーシップによって実現いたしました。ありがとうございます。

会長：実施計画につきましては、いつ頃完成なのでしょう。

事務局：実施計画につきましては、年度末までの作成を進めております。

環境基本計画につきましては、来年の1月に総合計画と併せてパブリックコメントを実施していく予定で進めておりまして、それまでに広報紙等に掲載する関係上、10月中には素案をまとめさせていただきたいと考えております。

委員：先ほどお話いただいた「SDGsのウェディングケーキモデル」の記載位置についてですが、資料1の30ページに、「関連するSDGsの目標」が記載されているので、30ページの前に記載した方が分かりやすいと思います。

会長：SDGsについては、ページ数をもう少し増やして説明してはいかがでしょうか。

事務局：現在、用語集の作成も進めております。SDGsが2030年までの目標となってしまうため、今資料1の3ページに記載しているSDGsの詳しい説明については、用語集を見てもらうよう誘導するなど、検討させていただきます。

また、「SDGsのウェディングケーキモデル」につきましても検討させていただきます。

会長：里山を放棄しますと声が挙がった場合、町が引き取る制度はあるのでしょうか。

事務局：町では実施しておりません。

委員：所有者が不明な山林はあるのでしょうか。

事務局：所有者が不明な山林もございます。

委員：町では、ボランティアなどに関する補助金申請の仕方を教えていただける、ボランティア支援センターはないのでしょうか。ボランティア支援センターがあると活動もしやすくなると思います。

事務局：ボランティア支援センターはございませんが、ホームページ上では支援情報などを確認することができるページを公開しております。

委員：町がボランティア団体に直接お金を渡し、支援をすることは難しいと思うので、補助金等の支援策を紹介できると良いと思います。

委員：学校等で環境出前授業を実施されていますが、町内の環境団体を呼んで、大人向けのセミナーを実施してみることも良いと思います。

委員：重点事業の「環境への想いをつなぐ場づくりの推進」に関する評価指標である、ワールド・カフェの実施回数ですが、1年間で入門編1回、実践編1回の2回実施してみたいかがでしょうか。

事務局：最低でも1回という意味で記載させていただきましたので、今後、皆様にご意見等をいただきながら、評価指標については修正させていただきます。

委員：先日、学校で防災講演会を行いました。子どもに伝えたことは、子どもから親に伝わっていくものだと感じます。学校だけでなく、今できることを、世代を超えた中で考えていく必要があると思います。

委員：重点事業の評価指標について、現段階ではイベントの開催数を用いて評価するものが多いと思いますが、本来は、イベントなどを開催した結果、その後どういった変化が起きたのかを評価することが重要だと思います。

事業者：他の自治体でも、同じく課題となる部分となっています。本来は、事業を行ったことに対し、アンケートを取るなど、意識がどう変わったのかを評価することが理想となります。

二宮町では指標問題を打破すべく、ワールド・カフェ等を開催し、町民の皆様の意見を直接聞き入れるなどの事業を行うこととしています。

委員：行政だけでは評価指標を提案することが難しい場合もあるため、委託事業者が入られているので、もう少し踏み込んで、効果が見える数値を入れていただきたいです。

事業者：指標につきましては再度検討させていただきます。

会長：アンケートは、事業を実施した後に行うと、多くの方は、意識が高まったと回答されます。

前の審議会で、「生物多様性の保全を推進」事業において、評価指標を生物種の数とすることなども提案させていただきましたが、専門家が介入しなければならない点などがあるということから、評価指標をイベントの参加人数や環境保全活動を行っている人の数などにしてみることも良いと思います。

委員：私も、評価指標をイベント開催数や啓発回数だけでよいのか疑問に感じます。回数ではなく、取組の姿勢も入れた方が良いのではないのでしょうか。

委員：イベントは、1回の開催でも意識が変わる場合もあるため、できるだけ少ない回

数でイベントを開催しなければならないと思います。ずっと同じ回数を設定しているということは、イベント内容等が全く改善されないということになるのではないのでしょうか。

委員：農業体験は、畑を耕してから収穫までの流れを体験してもらうことで、体験回数を1回とカウントする方が良いと思います。

会長：皆様のご意見から、町民の皆様は今後どういう行動をして欲しいのか、評価指標をどうしていくのが議論すべき点となると思います。適正な評価指標等に関しましては、難しい内容となりますので、委託事業者の方のご意見を参考に進めていければと思います。

事業者：皆様のご意見を踏まえて生活環境課とご相談の上、事業を実施した効果がわかるような指標を検討させていただきます。

委員：他の自治体等で計画を手掛けた中で、上手くいった事例などがありましたら、教えていただきたいです。

事業者：こちらの回答に関しましても、お時間をいただければと思います。

委員：里山の管理については、単発のイベントが開催できると思います。

先ほど農業体験は耕してから収穫までの流れを体験してもらうという話もありましたが、農業体験は、耕す、種をまく、何度も手入れを行う、収穫をするなどの工程があり、一連の流れを体験することは難しく、同じ参加者を集めることも難しいと思います。

委員：私も畑をやっていますが、年間を通じて休むことができません。なので、一連の流れを体験してもらうイベントは難しいと思います。一般の方ですと、参加する方が毎回ばらばらになってしまいます。

委員：評価指標については、ここからさらに議論が必要だと思いますが、他の団体にも呼びかけて評価指標を考えていくことも良いと思います。

委員：小田原のある中学校では、田んぼの様子を校長先生がホームページに取り上げています。このように、継続してホームページ等を更新していくことなどが重要になると考えます。私も学校のホームページに写真等を載せていますが、今できることは何かあるのかを考えて行動することが重要だと思います。

また、農業体験については、1回でもいいのでやってみることも重要だと思います。

委員：農業体験を協力してくださる農家さんはいらっしゃるのでしょうか。

委員：有機農業を行っている人ならば、できる場合もあるかもしれません。

委員：農業に関しては、退職後にやりたいと考える方も多いと思います。ある場所では、作った作物を売ることができるシステムもあるので、そういった仕組みを取り入れることができれば、経済的にも発展すると考えます。

委員：今よりも事業数を絞り込み、1つの事業を1年ごとに進めて、結果を見てその都度評価指標を変えていくことはできないのでしょうか。

事務局：基本的には前期実施計画で5年間、後期実施計画で5年間となるため、1年ごとに数値等を変更することは難しいです。

ご審議いただいた通り、全ての指標がイベント開催数や啓発回数等ですと効果

がわからないため、もう少しお時間をいただき、再度検討させていただければと思います。

委員：資料1の21ページに記載しているグラフから、現在二宮町で一番多くCO₂を排出しているのは家庭部門なので、計画で示されているよう、町民の皆様働きかけを行うことは正しいと思います。

また、二宮町の事務事業では、電気から一番多くCO₂が排出されているので、CO₂を出さないような省エネ設備等に転換していくことが大切だと思います。今回の実施計画では、どれだけの世帯が省エネに転換したのかを評価指標としてみてはいかがでしょうか。目標を下回っても、PDCAで改善していけば良いと思います。

事務局：評価指標につきましては、再度委託事業者と相談させていただきますので、お時間をいただければと思います。

4. 閉会

事務局：本日は長時間にわたりご審議いただき、ありがとうございました。

これをもちまして、本日の環境審議会を閉会とさせていただきます。

ありがとうございました。